

癸気揚揚

第13号

無駄な努力はない・・・

体育祭も無事に終わり、気が付くともうすぐ期末考査が始まります。校内を見渡すと、生徒の皆さんが勉強や部活動、学校行事へも全力で取り組む姿があり、校長として、とても嬉しく思います。

人は全てにおいて完璧ではありません。努力しても中々成果に結びつかないと感じる人もいるでしょう。でも、よく考えてみてください、努力したら必ず結果を出せる人など世の中では一握りです。スポーツであれば、勝者がいれば必ず敗者もいます。優勝するのは1人、または1チームです。準優勝した人も、1回戦で負けてしまった人も、努力しなかったから成果が出なかったわけではありません。練習の努力が成果となって満足するよりも、たとえ結果がどうであれ、自分自身が努力した過程に満足することです。

そのためには、努力したから自分の弱点が分かった、努力しなければ負ける悔しさも分からなかった、このように、負けても、うまくいかなくても、努力を価値づけることが大切です。勉強も同じです。努力した事実があれば、「自分が足りない学力はここだ!」と変化が生まれます。うまくいかなくても、やったことすべてが将来の自分にプラスになると思います。第16代アメリカ大統領のエイブラハムリンカーンの有名な言葉に「もし、この大木を5時間以内で切り倒してほしいと言われたら、私はその内の4時間を斧を研ぐことに努力したい。」とあります。結果ばかりに意識を持つのではなく、事前の準備や方法を考える時間に意識を持つことの大切さを伝えていたと思います。今の若い人は、「やっても意味がない」と、やってもいないのに諦めてしまう人がいます。努力の効果が出るまではとても時間がかかります。皆さんにとっての努力が、自分を成長させる機会になることを期待しています。

令和6年6月、本校のアーチェリー、陸上競技部、相撲部の生徒が全国高等学校総合体育大会（インターハイ）出場を決めました。出場することになった結果（記録や順位）に満足するのではなく、これまでの努力に対して満足することです。特に、かけがえのない仲間や指導してくれた先生方、保護者の方々の支えがあって出場できることは、決して忘れないでください。この支え（努力）こそ、大きな成果（インターハイ出場）となったはずです。この全国大会出場を決めた勝利を通して、結果ではなく、努力することの大切さをしっかりと心に刻み、今後の活躍を期待しています。がんばれ新田生！

令和6年6月

